

# 平成29年度事業報告

(中期経営計画 2015～2017)

## 【経営報告】

今期は、平成27年度からの中期経営計画最終年度として法人経営を行いました。社会福祉法の改正に伴い、ガバナンスの徹底とコンプライアンスの適正化をめざして経営体制の見直しを行い、理事会、評議員会の編成を行いました。経営全体を総括すると概ね予算収入を達成する実績を残すことが出来ました。ただし、事業ごとの達成については、予算収入を大きく上回る事業と未達成の事業が明確に分かれました。また、事業活動収支は予算額に対して108%の達成率となりました。収入増の要因には、処遇改善費比率が見直され年間稼働に比例して介護報酬算定額が増したこと、新規に池田宮川あんしんすこやかセンター事業を受託したことが挙げられます。支出減の要因は、入居施設全般に正規職員の予定配置人数が未達成となり人件費が未執行となったこと、水道光熱費などの事業費支出が削減したことが挙げられます。当期末の活動増減差額は前年度を改善しましたが、課題として人件費に占める派遣職員への支出割合が高いこと、施設の経年劣化に伴う施設整備費用や修繕費が高額化していることなどを踏まえ来年度も予実管理の徹底が必要です。

特養施設における重度化に伴う利用者の健康管理の徹底は、来期以降も入院によるベッドの空床率を軽減し安定した稼働を確保することが明確となった事業結果でした。利用者個々の終末は避けられませんが、医療知識に基づいた健康管理は、医療と介護の両面から徹底していかなければなりません。医療スタッフや介護職員の欠員の問題は、安定した看護や介護サービスの提供に大きく影響を与えました。職員の確保は一年を通じて解決困難な課題として残りました。

今年度、地域貢献と介護分野への人材確保を目的に介護職員養成研修の増回や離職者等再就職委託訓練事業を開始しました。来年度に向けて、外国人労働者の受け入れを具体化するためにベトナムへ担当者を派遣し、外国人向けの奨学金規程を設けるなど取り組みを行いました。しかし、各事業の人材を十分に確保するまでには至らず、来期に持ち越す課題となりました。評価すべき活動としては、4月に採用した新卒者に対して実施した初任者研修は、受講後、配属先での業務遂行に好影響を与えたことや離職者を一人も出さなかったことが効果として評価されます。来期は、職員の採用計画を一層強化し、確保、育成、定着が必須のテーマとなりました。

加えて、入所利用希望者やサービス利用希望者の確保が困難な状況が起きています。介護保険制度が継続する中で、地域に多様な介護サービス施設が多数営業されるようになったこと、第6期の改正により特養施設への入居が原則要介護3以上となったことなどが影響し、本会が経営する在宅サービスや特養、ケアハウス等への利用希望の依頼が

減少しています。この課題については、本会が経営する施設等が、介護サービスを必要とする人々に対して、当該事業活動をどのように見える化していくかが鍵となります。

来期は、介護サービスを必要とする人々が利用するに当たり、どのような情報を求めているのかを正確につかんでいくことが利用者確保に繋がるものと考えて活動を進めていく必要があります。

今期、新たに展開した事業は、池田宮川あんしんすこやかセンター及び池田宮川居宅介護支援事業所です。本会は、福祉・介護ニーズを持った高齢者等の地域生活支援を実践する事業として、神戸市から5か所目の委託を受け運営をしました。地域からの相談件数も予測以上に多く、当初予定した活動量を超えて地域支援を実施しています。

地域の声に耳を傾け、適切なサービスの提供を行い、利用者の自立支援に資する支援を継続していきます。

#### 【稼働実績】

##### 《特別養護老人ホーム》(定員数)

施設名	永栄園(100)	長田(70)	西部(20)	宮丘(29)	ひょうご(100)	甲南(29)
予算稼働率	95%	96%	95%	97.5%	96.25%	96%
実績稼働率	97.12%	97.3%	95.6%	96.5%	95.56%	94.13%
稼働差数	2.12%	1.3%	0.6%	-1.0%	-0.69%	-1.87%

##### 《短期入所生活介護》(定員数)

施設名	永栄園(6)	西部(20)	宮丘(20)	ひょうご(18)	甲南(20)
予算稼働率	90%	88%	90%	91%	90%
実績稼働率	100%	89.2%	87.1%	90.55%	86.44%
稼働率数	10%	1.2%	-2.9%	-0.45%	-3.56%

##### 《ケアハウス》(定員数)

施設名	こうべ(100)	甲南(60)
予算稼働率	92.9%	93%
実績稼働率	86.35%	93.84%
稼働差数	-6.55%	0.84%

##### 《デイサービス》(定員数)

施設名	永栄園(33)	西部(35)	さとやま(40)
予算稼働率	75%	78.5%	80%
実績稼働率	77.08%	74.5%	70.48%
稼働差数	2.08%	-4.0%	-9.52%

《居宅介護支援》（契約数）

事業所名	伊川谷	学園都市	ながた	池田宮川	高羽
予算利用者数	124	130	135	24	82
実績利用者数	110	123	118	21	55
差数	-14	-7	-17	-3	-27

《小規模多機能》（定員数）

事業所名	サテライト宮丘(29)	甲南(29)
予算稼働率	79%	76.44%
実績稼働率	76.2%	62.64%
稼働差数	-2.8%	-13.8%

《訪問介護》（契約数）

事業所名	訪問介護	定期巡回	障害
予算利用者数	13	12	10
実績利用者数	13	10	6
差数	0	-2	-4

【重点項目】

3. コンプライアンス（法令順守）の強化

1. 法人内にコンプライアンス担当を配置し、高い水準のコンプライアンス体制を強化するため、各事業体の重要事項説明書、契約書の見直し、必要とされる規程等の設置を行いました。
2. コンプライアンスに関する事案については、法人経営会議、法人事業推進会議を通じ、拠点の責任者会議に引き継ぎ周知徹底する体制で運営しました。
3. コンプライアンスの遵守は、職員の資質にも大きく影響を及ぼすため法人研修、事業体ごとの研修を通じて全職員に対し教育指導を行いました。

4. 社会福祉法人制度見直しへの対応

1. 経営組織のガバナンスの強化

- ・理事会・評議員会の体制を見直し、経営の健全化を図りました
- ・理事・監事等の権限・責務・責任の明確化を進めました
- ・親族その他特別利害関係人の理事への選任の制限を厳格化しました
- ・法人の会計監査人の設置、監査法人の法定監査には、予備調査等かなりの時間と労力を費やしての実施となりました。

## 2. 法人財務の透明性の確保

- ・財務諸表・現況報告書等の積極的な公表をHP等で行いました
- ・修繕目的等の明確化した剰余金の積立を行いました
  - ・積立目標や積立額への説明責任を果たす仕組みづくりをしました
  - ・法人単位での資金管理の実施をしました

## 3. 法人の規模拡大・協働化

- ・社会資源として既存する事業も積極的に活用できるよう調査し、法人事業としての可能性の検討を継続しました
- ・兵庫区、西区、長田区、東灘区で地域貢献等を目的とした複数法人による事業への協働をおこないました

## 4. 地域における公益的な活動の推進

- ・認知症カフェ等の地域交流促進の場の提供をおこないました
- ・法人減免制度等の低所得高齢者への生活支援をおこないました
- ・法人減免制度等の利用者負担の軽減
- ・地域包括ケアシステムへの参画

## 5. 中期経営計画の継続（後期）

サービスの質を高め、利用者の満足度を実現して、社会に貢献することを目的により健全な法人経営を目指します。